



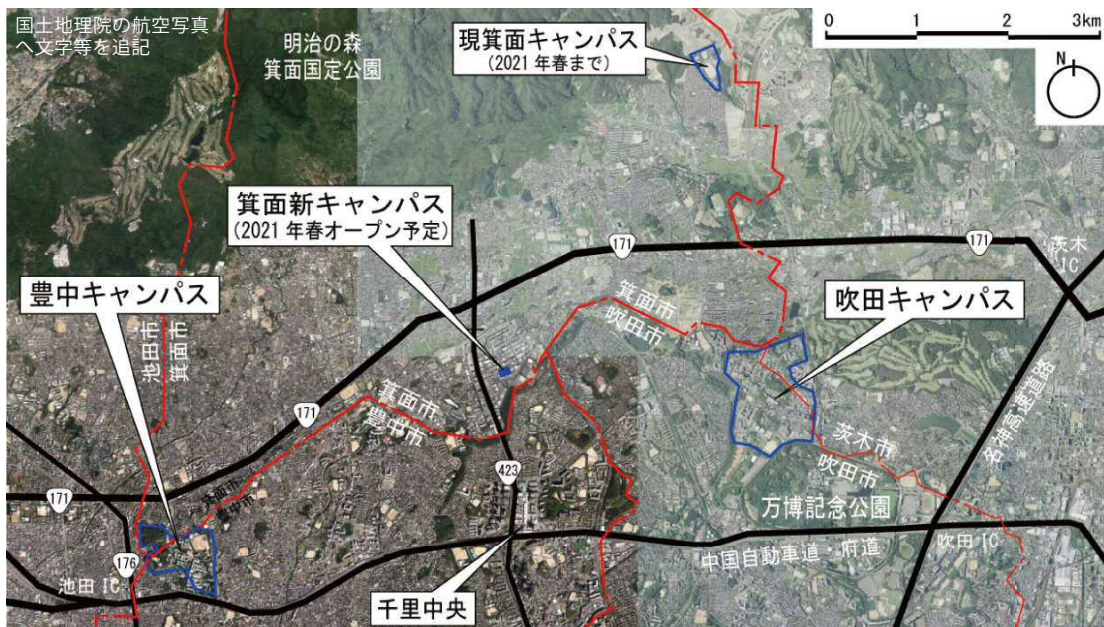
緑のフレームワークプラン

＜ダイジェスト版＞

2019.03

このプランは大阪大学キャンパスマスタープラン(2005年初版策定、2016年改訂)の下位指針として、キャンパス内の広場や街路の植栽(高木・中低木・地被類)、および樹林地や草地の維持管理状況の向上を目指して2011年に作成され、2018年に改訂したものです。

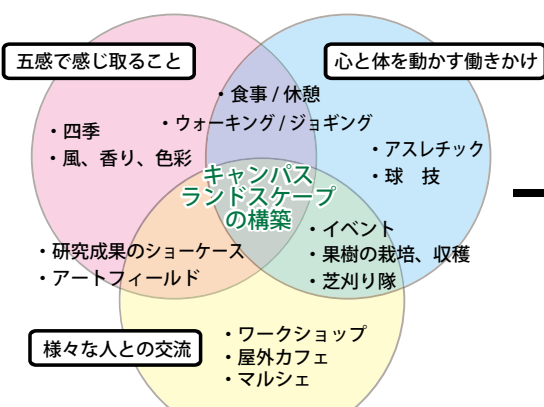
北摂における緑や水のネットワークの中で、キャンパスの緑地を重要な地域資源として、守り育てていきたいと考えます。



キャンパスと北摂の緑

教育・研究環境の基盤となる緑

緑・自然・環境への働きかけと、そこで育まれる感受性が、教育環境の発展にとって重要だと考え、豊かな自然、活発な交流、健全な活動を実現する屋外空間が、教育と研究の源泉となることを目指します。



〔制作・監修〕 施設マネジメント委員会
サステイナブルキャンパスオフィス キャンパスデザイン部門
〔お問い合わせ〕 施設部 企画課 TEL 06-6879-7129

キャンパスの緑の現状

美しいイチョウやケヤキ等の並木



閉鎖的な緑地や、維持管理が行き届かない緑地

貴重な植物(イヌフグリ、豊中)



調和のとれた見通しの良い緑地や広場(吹田)

旧大阪外国語大学の伝統を受け継ぐ緑(箕面)

課題と方向性

- (1) コストとのバランスの中で、より実効的に維持管理できること(各部等管理担当における剪定・除草等発注および検収や、施設部による設計・監理など)
- (2) 運営費交付金減少や土地活用活性化(民間企業誘致など)に対応していくこと
- (3) 学生教職員や周辺地域の方々、企業や卒業生等、多様なステークホルダーに関心や愛着をもっていただき、維持管理活動やクラウドファンディング、ネーミングライツ等により緑の育成へ参加していただけるようになること
- (4) 老木の更新や災害へも対応できるようにして、安全性向上にも寄与すること
- (5) ランドスケープ(緑地等景観)を、大学のブランディングにつなげること

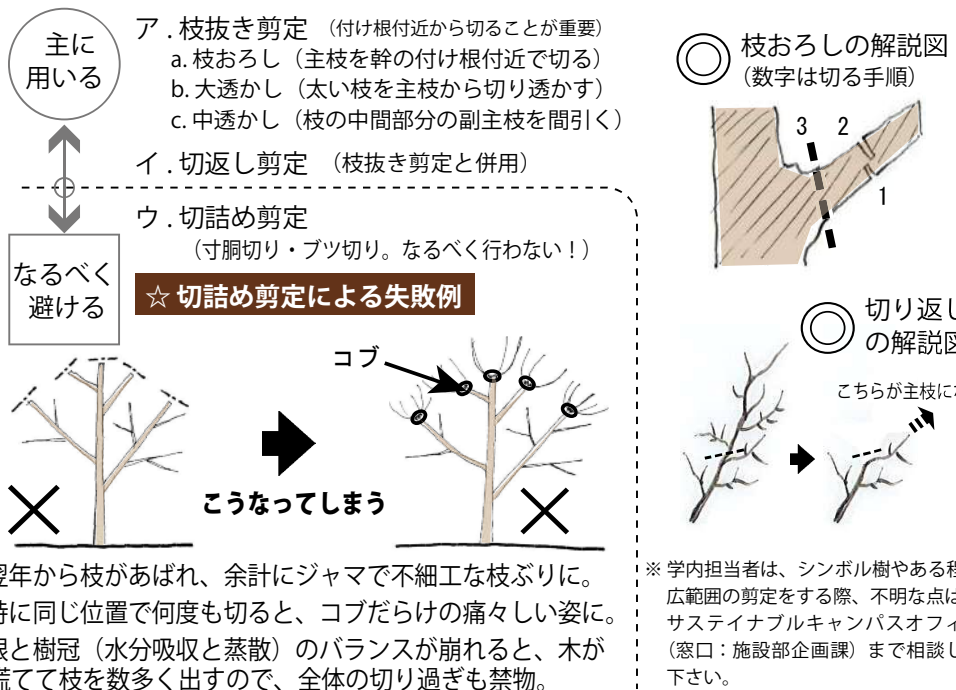
活動へつなげていく考え方



ランドスケープの向上を活動と発信へ繋げていくことで、工事で終わりでない、使いこなしにつながる維持管理のマネジメントを目指します。

これまでの取り組み

緑の維持管理マニュアル(剪定ガイドラインなど)



活動の実績や受賞など



その他、緑地の整備や維持管理等について下記のような評価をいただきました(2013以降)。

- ・第3回大阪府みどりのまちづくり賞 奨励賞 2013(豊中キャンパスでの地域と協働した活動に対して)
- ・2013年度 文部科学省による評価で、タケの会等活動が「本学の注目される実績」の一つに
- ・第3回 サステイナブルキャンパス奨励賞 2017(タケの間伐等、教育研究と連携した取組に対して)

樹種や場面に応じた剪定



盃形(逆ぼうき形) 樹形... ケヤキなど

紡錘形・卵型の樹形... イチョウなど

キャンパスごとの緑の整備イメージ例

豊中キャンパス

TOYONAKA Campus



吹田キャンパス

SUITA Campus

千里門周辺のランドスケープ改善と、民間企業等誘致



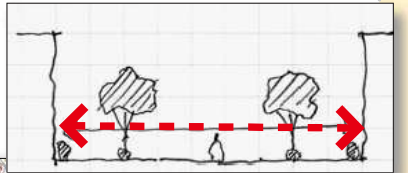
共通するデザイン指針と活動のイメージ

幹線街路



広場等の緑地

街路と同様に、見通しのよいデザインとする。



歩道は、ジョギングコースなどに利用しやすい形態へ



低木を減らして開放性を高めて、見通しよいデザインにすることで安全性の向上をはかる

幹線道路の整備と利用のイメージ

ジョギング・トレイルランニングコースの整備イメージ

特徴的なマイルストーン（距離標）
コンクリートキューブにステンシルペイント（一例）



歩道面のマーキングに使うステンシル（一例）

距離表示など特徴的マーキング

特徴的な歩道面マーキング



動植物に関心をもってもらおう工夫

植物名板や動物の生息ガイド

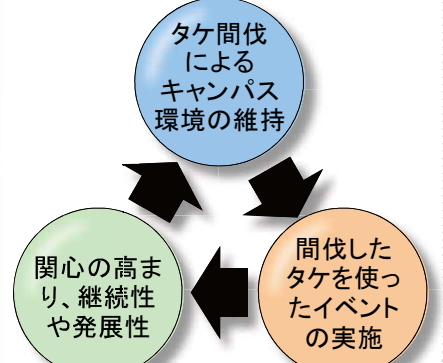


動植物マップやそれらの授業と連携した書籍化等

活動と維持管理のよい関係

例；豊中キャンパスタケの会と阪大坂流しそめん

実績あるタケの会をモデルとして、活動を維持管理や、空間の使いこなしにつなげて行きます。



犬養池および遊水池・水辺の景観を活かしたボードウォーク等

